



# YMCA

月刊 TheYMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本郷町7番地  
大阪青年 発行：錦織一郎 編集：大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

## 大阪青年

2006

Dec. 12

No. 590

2006年度大阪YMCA年間聖句

「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。」

(ヨハネの手紙I 4章7節)

### 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# イエスをまことのヨカイ

社会福祉法人  
大阪ワイエムシイエイ福祉会  
理事長 松岡 虔一

「きよしこの夜 み告げうけし まきびとたちは み子の御前に ぬかずきぬ かしこみて」

讃美歌109番3節

クリスマスを迎え、いずこのYMCAからも「きよしこの夜」の喜ばしい歌声が高らかに響いてきます。私もこれまで数多く「きよしこの夜」を歌ってきました。それぞれ貴重な思い出があります。戦争末期の小学校5年生の折、長崎の捕虜収容所でオランダ兵捕虜たちと歌った「サイレント・ナイト」、この礼拝は当時の収容所長(陸軍大尉)が、



過酷な重労働と栄養失調に苦しむ若き捕虜たちにせめてクリスマスのみさを受けさせてやりたい、と牧師をしていた私の父親に依頼して英語で行われました。長崎西高校時代に長崎YMCAが主幹する※ハイYの仲間たちと港の見える丘々を巡り歌った「きよしこの夜」に戦後の自由と新しい時代の到来を実感しました。大阪南YMCA予備校礼拝で毎年歌った「きよしこの夜」は受験を間近に控えた緊張のなかで、ひとときの癒しを与えてくれました。数年前の南YMCAクリスマス礼拝では実行委員長(故威仁公さん)の企画により弦楽四重奏で「きよしこの夜」を歌いました

が、あの神秘的な感動を忘れることができません。さて、三節には天使のみ告げを受けた羊飼いたちがベツレヘムの馬小屋を訪ね、お生まれになったイエスさまと出会ったことが歌われています。彼らは喜び勇んで野原へと帰っていきました。貧しくはあっても、その後の羊飼いたちはイエスさまの愛に包まれて力強く心安らかに生きてきたことでしょう。YMCAのクリスマス、それは参加するすべての人々がイエスさまと出会う場です。

また、イエスさまとの出会いをさらに深め、出会いを確信する場でもあります。単に流行のクリスマス・ソングとして歌うのではなく、野原の羊飼いたちのようにイエスさまとの出会いを強く意識して「きよしこの夜」を歌っていただきたいし、今年のクリスマスが皆さんにとってイエスさまとの出会いの場となることを願ってやみません。

※ハイY：昭和20年代、YMCAはレイリーダーと呼ばれる若い有志指導者の養成に力を入れ始め、少年事業・青年事業のクラブ活動を広く展開した。館外活動として大阪市内の新制高校内でYMCA活動が開発され、昭和23年にハイY連盟を組織し、YMCAにおける高校生の活動が活発化した。

### 地の塩

YMCAの正章の意味の一つに「すべての人を一つにしてください」という聖書の言葉が示されている。

このすべての人は必ずしも価値観や考え方を同じにする、ということではない。私たちは顔・形が異なるように、それぞれの価値観や考え方が違うのは当然である。同じであるということと一つになるということは違うのである。同じということの中には個性とか自由というものは感じられない。それぞれの個性や価値観が違っても、ある目的や目標に向かって団結し一つになる、ということが大切なのである。これは弦楽器や管楽器、打楽器など様々な楽器を担当するそれぞれの演奏者が指揮者を中心に心を合わせ、素晴らしいハーモニーを奏でるオーケストラと同じである

▼とくに近年言われているような革新性・創造性が何より大事な知識社会では、全員が似通った考えを持つ集団よりも多様な人材が意見を出し合う集団の方が強いのはある意味、当然だからだ

▼それらの多様性のある個がYMCAのミッションのもとに集まり、それぞれに与えられたタラント(才能)を存分に発揮し、力を合わせて(一つになって)社会の負託に応える歩みが続けるのがYMCAのあるべき姿ではないだろうか

▼125周年の歴史を辿ろうとする大阪YMCAに連なる私たちも、この多様な人財が一つになって力強く確かな歩みが続けていこうではないか。

(池)